

「ふつう」ってなんだろう？

校長 片 山 亮 一

「今日は天気がいいから、次の算数はグラウンドに出てキックベースでもするか。」

私が小学生や中学生の頃は、先生の一言で授業がレクリエーションや楽しい作業になることがたびたびありました。先生からの突然のプレゼントは本当に心地よく、授業ではみられない仲間のよさに気付いたり、甲斐性や社会性が身に付いたりする大切な時間でした。ただ、私には苦い思い出が一つあります。それは、小学校6年生のときのことです。

「今日の午後は授業を取りやめて、校舎外れの倉庫の大掃除をします。」

担任の先生の一言にみんなも私も大喜びです。しかし、先生の言葉は続きます。

「大きな物や重い物ばかりなので女子には危険です。」

男子だけで片付けをしますので、女子は係の仕事をみんなで助け合って進めてください。」

「あっ、片山くんは行かなくていい。教室に残って反省していなさい。」

実はその日の4時間目にこんなことがありました。クラスのルールを学級会で話し合っていたときの事です。内容は覚えていませんが、大きく2つに意見が絞られ、そのどちらにするかを多数決で決めることになり、採決の結果、私の考えとは異なるものに決まってしまうしました。

「なぜみんなはそっちを選んだよ。こっちの考えの方が誰にとっても絶対にいいはずなのに、

そんなことがなんで分からんがだろ。みんな本当にまじめに考えているんかよ。」

納得がいけない気持ちが大きくなった私は、採決後も自分の考えを主張し続けました。そんな私を先生が一喝。これが午後の「反省していなさい」の理由なのです。

私が主張し続けたのは、悔しさでも単なる「わがまま」でもなく、「こだわり」でした。

この「こだわり」の強さは大人になった今も決して消えてはいませんが、この日から私は周囲のことを少しは気にしながら発言するようになりました。

さて、11月からNHKでは「発達障害」を伝えるキャンペーンが展開されています。発達障害のために様々な困りごとを抱える人々の「ふつう」を知る2分間アニメ『ふつうってなんだろう？』なども毎日のように放送されているようです。先日も、小さい頃から文字認識が苦手だった落語家の柳家花緑さんが自らの感覚をアニメの中で語り、「自分が周りと違う」ことに悩む子どもたちへの優しいメッセージとなっていました。

ひとくちに「発達障害」といっても様々で、気が散りやすい、忘れものが多い、空気が読めない、音や色に過敏すぎる、読み書きや計算ができないなど、その傾向と程度は人によって大きく異なります。そして、その人にしか分からない「生きづらさ」があるようです。周りを考えずに強引に進めてしまった私の「こだわりの強さ」もある種の発達障害なのかもしれません。

先日、ある中学校の校長先生と発達障害のある生徒との心温まるエピソードを聞きました。その生徒はちょっとしたことが強い刺激となるらしく、いつも落ち着いていられないため立ち歩きや粗暴な行為が続いているそうです。

そこで、校長先生がその生徒との関係をより深めたいと、二人きりでアオリイカ釣りに出かけました。アオリイカの餌となる小アジを釣るその生徒の手際のよさは実に見事でしたが、釣った魚を素手でつかもうとせずに終始「魚バサミ」を使っていることを疑問に思った校長先生は「どうして魚バサミをずっと使っているの。もしかして、魚に触ることがいやなの？」と生徒に尋ねました。その生徒はこう返したそうです。

「もちろん素手でつかめるよ。でも、僕の手が魚で臭くなると先生の車まで臭くなるでしょ！」

この生徒の「心からの気配り」に、私は目頭が熱くなりました。



12月～1月の主な予定



11月28日(水) 期末考査(～30日)
11月30日(金) 3年進路懇談会①
12月 3日(月) 3年進路懇談会②
12月 5日(水) 2年校外学習(金沢市内)
12月17日(月) 学期末懇談会(～19日)
学校納金口座振替日
12月21日(金) 2学期終業式
給食最終日

1月 7日(月) 3学期始業式 書き初め大会
1月13日(日) 町成人式
アンサンブルコンテスト
1月14日(月) 成人の日
1月15日(火) 学校納金口座振替日
県スキー選手権(～17日)
研修会のため午後放課
1月23日(水) 3年進路懇談会(～24日)

互いのよさが輝く学習発表会

10月27日（土）に実施した学習発表会では、来校された多くの皆様に生徒たちの活動をご覧いただきました。

午前の合唱コンクールでは、どの学年もクラス一丸となり、素晴らしい歌声を響かせました。午後の総合的な学習の時間の学年発表や英語スピーチ、保健体育のリズムダンスなどの各教科の発表、合唱部と吹奏楽部の演奏がそれぞれ見事に披露されました。



切れ味のよいリズムダンス



幼児のための絵本の展示

展示発表では、夏休み自由研究の優秀作品や美術、書写、技術・家庭の作品など、授業での取り組みの成果をご覧いただきました。

練習や制作に熱心に取り組んで得られた様々な力や自信を今後の学校生活に生かし、よりたくましく成長してくれるものと思います。

《合唱コンクール スローガン》

結 晶 ～響かせよう みんなでつくる 歌声を～

《合唱コンクール 審査の結果》

最 優 秀 賞	1 年 5 組	2 年 4 組	3 年 6 組
優 秀 賞	1 年 7 組	2 年 1 組	3 年 5 組
ミュージックマナー賞	1 年 7 組	2 年 5 組	3 年 1 組

初めはうまく指揮ができるかどうか不安でした。しかし、パートリーダーのみんなとともに力を合わせ取り組んでいくうちに不安は消え、クラスも一つにまとまっていきました。

本番はとても緊張しましたが、今までの努力を信じて指揮台に上がりました。指揮をしながらみんなの顔を見て、今までで一番よい合唱だと実感し感動しました。来年の合唱コンクールもみんなで協力して頑張りたいです。（1年女子）



練習のときからパートリーダー以外の人も呼び掛けていてとても積極的に取り組みました。課題がたくさんあり、大変でしたが、みんなで力を合わせて支え合うことができました。

指示したことをみんながしっかりと守ってくれたのでパートリーダーのやりがいを感じました。

今回学んだことを来年にも生かし、情景が目浮かぶような合唱を届けたいと思いました。（2年女子）



パートリーダーになり、最初は難しい歌で大変そうだなと思いました。でも、それぞれのパートで改善点を改めたり、よさを伸ばしたりしていくにつれ、どんどん上手に歌えるようになり、歌うのが楽しくなっていました。これまでの練習の頑張りが結果に出たのかなと思いました。

合唱コンクールで学んだ「協力する心」などをこれからの学校生活に生かしていこうと思います。（3年女子）



学校保健委員会 ～望ましい生活習慣を考える～

「みんなでチャレンジ！ スクリーンOFF 21時 ～メディアと生活習慣～」をテーマに全校集会の形で学校保健委員会を行いました。

保健体育委員会がアンケート結果を報告し、各学年の代表生徒の実体験に基づいた発表を行いました。その後、代表生徒や保護者代表、立山町保健センターの保健師によるシンポジウムを行いました。家庭でのスマートフォンを使い方やテレビ視聴の工夫などについて、本音で意見を出し合い、中身の濃いシンポジウムとなりました。

